

● 京 都

●元橋寛展 Gradations 3日まで、正午～午後7時(3日は午後5時まで)、京都市中京区三条通御幸町東入弁慶石町、1928ビル2階、同時代ギャラリー、ギャラリービス(075・2566・6155)。植物を主にパンや布地など、なじみのあるものをモチーフとした水彩画や銅版画を展示する。無料。

●金彩友禅 和田光正の世界 昭和・平成・令和 職人人生66年 光と夢を追いつづけるもの創り展 3日まで、午前10時～午後6時(3日は午後4時まで)、京都市中京区高倉通三条上る東片町、京都文化博物館5階(075・222・0888)。金彩友禅作家の和田光正さんが完成させた新しい金彩友禅の展覧会。コンビエーターによる超極細線と、摺箔(すりほく)技法を用いた美しい着物や帯などを約120点展示するほか、和田さんのコレクションの中から、時代を代表する先人たちの作品も紹介する。無料。

●田村星都 作陶展 30日まで、午前11時～午後5時半、京都

市中京区一之船入町、桃青京都ギャラリー(075・585・5696)。和歌などを極細の筆で磁器に書き込む丸谷毛筆細字の作家による展覧会。香炉やコーヒーカーップ、ぐい呑(のみ)、皿などを約50点展示する。無料。日、月曜休廊。

●コレクション 春―所蔵作品による名品展 7月3日まで、午前10時～午後5時(入館は午後4時半まで)、大山崎町銭原、アサヒビル大山崎山荘美術館(075・957・3123)。モネの「睡蓮(すいれん)―をほしめとする西洋近代絵画と、開館に際して寄贈された朝日麦酒(現アサヒ

ビル)初代社長・山本爲三郎による民藝運動ゆかりのコレクションなどが所蔵されている同館から選んだ多彩な作家とその作品を紹介する。一般900円、高大生500円、中学生以下無料。月曜休館(祝日の場合は開館、翌火曜休館)。5月2日は開館。

●あつまれ！朝鮮王朝の動物クリム 前期は6月7日まで、後期は6月9日～8月21日、午前10時～午後4時半(入館は午後4時まで)、京都市北区紫竹上野町、高麗美術館(075・491・1192)。朝鮮王朝時代の動物が描かれた絵画を中心に、動物をモチーフとした美術作品を集めて紹介する。一般500円、大高生400円、中学生以下無料。水曜休館(5月4日は開館)。

「田村星都 作陶展」から



新型コロナウイルスの感染予防のため、お出かけの際はマスクの着用やソーシャルディスタンス(社会的距離)の確保、手指の消毒などを徹底しましょう。また、コロナ禍の影響で、イベントが延期・中止になる場合があります。事前に電話やホームページなどでご確認ください。